

都立井草高等学校 グランドデザイン（イメージ）

<p>【生徒／学校の現状】 学習：授業、考査、課題、小テスト等 目標があると努力する 指示された活動は取り組み、プレゼン発表等を得意とする 家庭学習習慣が足りない、難易度があがると挑戦しない傾向 生活：他者を思いやり、多様性を受け入れる リーダーシップをとれる 与えられた役割を果たそうとする 規範意識、自主性に欠け、継続させる力が足りない やりたい事のみ頑張る傾向 進路：英語を強みに、進路意識は高く、目標が決まると伸びる 受験勉強への取り組みが遅い、視野の狭い部分あり、計画性要</p> <p>【予想される社会の変化】 感性を豊かに働かせ、答えのない課題に対して、多様な他者と協働しながら目的に応じた納得解を見いだしたりすることが必要となる</p>	<p>【教育目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 真理を探求し、問題を自ら解決する態度を培う。 2 責任を重んじて自主的に行動し、勤労を尊ぶ健全な精神を育成する。 3 礼儀を正しくし、気品に富む明朗な生き方を学ばせる。 4 人権を尊重し、協力して社会の発展に貢献する人材を育成する。 <p>【学校像/学校経営計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 向上進取の精神と高い志を育てる。 2 豊かな心と確かな学力を身に付け社会に貢献しようとする意欲を持った国際人の育成を目指す。 3 人権尊重の精神を理解し、地域の方々から愛され、困難にも挫けることなく前向きに人生を歩める生徒を育てる。
--	--

<p>【目指すべき生徒の将来像（20年後の生徒の姿など）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際人として、世界を舞台に創造的に社会貢献し、答えのない課題や困難に挫けることなく、他者と協働しながら、粘り強く立ち向かうリーダー ・個性豊かに自由な発想で自分の能力を発揮し、他者他国の多様性を受け入れ、礼儀正しく相手への伝え方を工夫し、様々な環境に対応できる人間



<p>【学校の教育活動全体を通して（教科横断的に）育成すべき資質・能力】 A 知識及び技能 B 思考力、判断力、表現力等 C 学びに向かう力、人間性等</p> <p>A：①自学自習・家庭学習習慣の確立 ②粘り強く学び取り組み続ける姿勢 ③物事への興味関心 ④英語運用能力 B：①自主自律 ②多様性（国際、社会、人権等）を理解できるための協働性 ③問題解決能力 ④主体的に学ぶ姿勢 C：①本気で高い目標を設定し、努力し続ける能力 ②高い目標への具体的計画、実行後の反省 ③世を知り社会貢献を考える能力 ④自分自身を知る能力 ⑤リーダーシップ ⑥TPO をわきまえた行動や時間管理 ⑦思いやり・寛容さ</p>
--

【学校の教育活動全体を通して（教科横断的に）育成すべき資質・能力に基づくルーブリック】

		育成すべき資質・能力	レベル1 (C)	レベル2 (B)	レベル3 (A)	レベル4 (S)	
		設定の目安→	言われたこと、定められたことがその通りにできる。支援を受けながら課題解決に向かうことができる。	与えられたレベルを自ら達成しようとする。支援を受けながらも全体に貢献しようとする。	取組の意味を理解し、自主的に行動して解決に向かうことができる。	見通しを持ち、自ら課題を発見し、リーダーシップを発揮して取り組み解決できる。	目指すべき 生徒の将来像 ・個性豊かに自由な発想で自分の能力を発揮し、他者他国の多様性を受け入れ、礼儀正しく相手への伝え方を工夫し、様々な環境に対応できる人間 ・国際人として、世界を舞台に創造的に社会貢献し、答えのない課題や困難に挫けることなく、他者と協働しながら、粘り強く立ち向かうリーダー
A 知 識 及 び 技 能		自学自習・家庭学習習慣の確立	指示に従って、授業に必要な予習・復習を一定時間・一定分量行うことができる。	授業に必要十分な予習・復習を含めた家庭学習を、自分で判断して行うことができる。	授業で学習した内容を深め、関連して自主的に学習を深めることができる。	学習の内容を他単元・他教科・他分野と関連づけ、発展的に生かしていく姿勢をもって学び続けることができる。	
		粘り強く学び取り組み続ける姿勢	指示がある間、一定のことに続けて取り組むことができる。	指示や支援が少なくても、自ら一定のことに続けて取り組むことができる。	自らの課題の目的、目標を理解し、取り組み続けることができる。	解決、完成の見通しを持ちながら取り組み続けることができる。	
		物事への興味関心	興味・関心があることを、1～複数挙げられる。	自ら追求しようとする興味関心がある。	深く追求している興味関心がある。	深く追求している興味関心を他者に表現できる。	
		英語運用能力	簡単な語句や文を使って、自分自身の事について伝えることができる。	視覚的補助を利用しながら、自分の生活に関することについて、伝えることができる。	自分の考えを事前に準備して、原稿を元に伝えることができる。	社会的課題について、情報・考え・気持ちを即興で伝えることができる。	

		育成すべき資質・能力	レベル1 (C)	レベル2 (B)	レベル3 (A)	レベル4 (S)
		設定の目安→	言われたこと、定められたことがその通りにできる。支援を受けながら課題解決に向かうことができる。	与えられたレベルを自ら達成しようとする。支援を受けながらも全体に貢献しようとする。	取組の意味を理解し、自主的に行動して解決に向かうことができる。	見通しを持ち、自ら課題を発見し、リーダーシップを発揮して取り組み解決できる。
B 思考力 判断力 表現力等	主体性・多様性・協働性	自主自律	助言を受けながら、自分のすべきことをすることができる。	自分のすべきことを理解し、行動することができる。	周囲の状況を理解し、自分のすべきことを判断しながら行動することができる。	自分の能力を生かしながら周囲と共に行動し、社会に貢献していくことができる。
		多様性（国際、社会、人権等）を理解できるための協働性	多様な価値観や文化に気づき、周囲に促されて、協力する姿勢をみせることができる。	多様な価値観や文化を伝え合い、共通の目標のために協力しようとすることができる。	多様な価値観や文化を認め合い、意思疎通し、共通の目標のために協力できる。	多様な価値観や文化を生かし、共通の目標を達成するために周囲へ働きかけができる。
		問題解決能力	指示に従い解決方法を支援されて、示された範囲内を解決できる。	示された課題に与えられた材料をもとにしながら解決できる。	自分で課題を発見し主体的な学習活動を通して解決できる。	学んだ知識や技能を活用し見通しを持った学習活動を通して解決できる。
		主体的に学ぶ姿勢	自分の関心を見つけ出し、学習内容を理解しようすることができる。	自分の関心と学んだ知識や技能を結び付け、学習に取り組むことができる。	自分の関心と学んだ知識や技能を結び付け、自ら学習方法を工夫できる。	自分の関心を広げて、学んだ知識や技能を応用・発展させ探究し、自らの学びを深めることができる。
C 学びに向かう力	将来設計能力	本気で高い目標を設定し、努力し続ける能力	目標を掲げ、支援を受けながら、取り組むことができる。	目標を掲げ、主体的に取り組み続けることができる。	高い目標を掲げ、困難があっても様々な克服方法を考えることができる。	高い目標を掲げ、困難があっても前向きに最後までやり抜くことができる。
		高い目標への具体的な計画、実行後の反省（PDCA）	目標・計画を立てず、見通しをもたずに課題に取り組んでいる。 (Dのみの段階)	具体的な目標・計画を立て、課題に取り組むことができる。 (P-Dの段階)	具体的な計画を実行し、目標の達成度を適切に評価(反省)できる。 (P-D-Cの段階)	目標・計画への評価(反省)に基づき、具体的な改善と実行を継続できる。 (PDCAサイクルの確立)
	意思決定能力	世を知り、社会貢献を考える能力	社会問題に関心を持ち、解決に向け、情報を得ることができる。	社会問題に関心を持ち、解決に向け、活動できる。	社会問題に関心を持ち、解決に向け、主体的に活動できる。	社会問題に関心を持ち、解決に向けた活動で、リーダーシップを発揮できる。
人間性等	人間性	自分自身を知る能力	自分の言動を振り返り、改善しようという意識をもつ。	自分の理想と現実の差を見つめ、改善に向けて行動できる。	自己分析をしながら、自身の良さを生かす分野を知る。	社会における自己の役割を考え、大局的に進路を決め行動する。
		リーダーシップ	助言を受けながら、他者に働きかけ、集団を導くことができる。	自発的・積極的に他者に働きかけ、目標に向かって集団を導くことができる。	他者に信頼され、集団を成果へと導くことができる。	他者に信頼され、常に見通しを持って行動し、成果へと導くことができる。
		TPOをわきまえた行動や時間管理	支援されながら、時間等を守り、決められた行動ができる。	自ら決められた時間等を守り、習慣化された行動ができる。	行動内容を理解し、自主的に時間を考えながら個々で行動できる。	自らの将来を見通し、主体的に周囲にも配慮した行動ができる。
		思いやり・寛容さ	集団や他者との中で、相手の立場や考えを想像し、共感できる。	集団や他者に対して、思いやりを持って行動し、周囲の幸せを考えることができる。	考えの違う他者を受け入れ、違いを楽しめる。社会や環境の変化を前向きに捉えられる。	考えの違う他者の意見や存在を自分や社会をより良くしていくための重要なものとして受け入れられる。

目指すべき生徒の将来像

・国際人として、世界を舞台に創造的に社会貢献し、答えのない課題や困難に挫けることなく、他者と協働しながら、粘り強く立ち向かうリーダー

・個性豊かに自由な発想で自分の能力を発揮し、他者他国の多様性を受け入れ、礼儀正しく相手への伝え方を工夫し、様々な環境に対応できる人間